

我が国が参加する主要な多国間科学技術協力の取組

平成 24 年 4 月

1 イーター（ITER）事業

- ・イーター事業は、環境への負担が少なく、持続可能なエネルギー源の一つとして期待される核融合の科学的、技術的な実証を目的に、実験炉を建設・運用する国際共同プロジェクト。
- ・日本、米国、EU、中国、韓国、ロシア、インドが参加。
- ・関連サイト <http://www.iter.org/>

2 国際科学技術センター（ISTC）

- ・ISTC は、旧ソ連諸国の大量破壊兵器及びその運搬手段の研究開発に従事していた科学者・技術者を平和目的の研究開発プロジェクトに従事させることにより、大量破壊兵器関連技術の拡散を防止に寄与することを目的とする国際機関。
- ・日本、米国、ロシア、カナダ、ノルウェー、韓国、カザフスタン、ベラルーシ、アルメニア、キルギス、グルジア、タジキスタンが参加。
- ・関連サイト <http://www.istc.ru/>

3 地球規模生物多様性情報機構（GBIF）

- ・GBIF は、生物多様性に関するデータを集積し、全世界的に利用することを目的とした国際科学協力プロジェクト。
- ・2001 年に GBIF に参加して以降、我が国の専門家が GBIF 理事会副議長を歴任。また、2011 年以降は規約委員会副議長も務めている。
- ・57 カ国・地域、47 機関が参加。
- ・関連サイト <http://www.gbif.org/>
<http://bio.tokyo.jst.go.jp/GBIF/gbif/japanese/>

4 全地球観測システム（GEOSS）

- ・GEOSS は、国際的な連携を通じ、衛星、地上、海洋観測等の複数の地球観測システムから構成され、地球全域を対象とした包括的かつ持続的な地球観測システムとして構築されるもの。
- ・GEOSS を推進する国際的な枠組として、地球観測に関する政府間会合（GEO）を設立。
- ・我が国は、13 カ国から成る執行委員会の一員を務めているほか、構造及びデータ委員会の共同議長を務めている。

- ・ 87 カ国・地域, 61 機関が参加。
- ・ 関連サイト <http://www.earthobservations.org/geoss.shtml>

5 統合国際深海掘削計画 (IODP)

- ・ 日本の地球深部探査船「ちきゅう」と米国の掘削船を主力船として深海部を掘削し, 地球環境の変動, 地球の内部構造, 地殻内生命圏等を解明することを目的とする国際協力プロジェクト。
- ・ 21 カ国・機関が参加。
- ・ 関連サイト <http://www.iodp.org>
<http://www.jamstec.go.jp/chikyu/jp/>

6 ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (HFSP)

- ・ 生体の持つ優れた機能の解明のための基礎研究活動を, 学際, 国際, 若手重視の理念のもとに推進し, その成果を広く人類全体の利益に供することを目的とする国際共同研究助成を行う機関。
- ・ 助成を受けた研究者の中から 16 名のノーベル賞学者を輩出している。
- ・ 14 カ国・地域が参加。
- ・ 関連サイト <http://www.hfsp.org/>
<http://jhfsp.jsf.go.jp/>

7 アルゴ計画

- ・ 世界の海洋の状況をリアルタイムで把握するシステムの構築と維持を目指す国際協力プロジェクト。
- ・ 参加国はフロート (観測機器) 約 3500 個を地球の全海域に投入 (うち, 我が国が投入したフロートは約 270 個)。
- ・ 採取したデータはウェブサイトで公表され, 海洋学・気象学観測, 環境変動予測等の研究に活用されている。
- ・ 23 カ国・地域が参加。
- ・ 関連サイト <http://www-argo.ucsd.edu/>
http://www.jamstec.go.jp/J-ARGO/index_i.html